

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達 子どもサポートセンターうるら南		2025年 04月 01日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		日当たりもよく、こけても痛くないようクッションフロアも準備されている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令に遵守した配置を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		2階にあるため、バリアフリー化は出来ない。室内の環境作りは、過ごしやすく出来ている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		整理整頓を心がけ、子どもが自分で出来る事を増やしていけるように環境作りをしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		事務所を隣接しており、必要に応じてクールダウンのために使っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日全職員でミーティングを行い、意見を出し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表の意見を参考にし、職員間での話し合いに活用している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日全職員でミーティングを行い、意見を出し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価を検討中
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修に参加をし、他の職員へ情報共有を行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		スケジュール表を配布し、保護者に分かりやすく伝達をしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者の要望やご意見をもとに、児童の発達状況を踏まえ、作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成際には話し合いを行い、児童の最善へとつながるようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成後には話し合いの場を設け、共通意識をもって支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもの発達状況や月齢に合わせた支援内容を設定し、個々にあった支援を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月のスケジュールは全体で話し合いをしている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	全職員で意見を出し合い、季節や月齢にあった活動プログラムを組み立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	月齢に応じて、活動プログラムを考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	毎日ミーティングを行い、より適切な支援をしいけるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	終業後にその日にあったことを全職員で話し合い、変化等があれば共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援終了後にその日の出来事を記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年に一度モニタリングを行い、計画書を作成している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議に参加する機会はまだないため、今後はより熟知した職員を参加させたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	専門機関との連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	児童発達支援後は放課後等デイサービスの利用へとつなげている。また保育所から就学サポートシートを提供してもらい、情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	施設内での状況を説明し、情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		今後検討をしていきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の学童保育に参加をさせてもらい、交流の場を設けた。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	対面だけでなく、電話での相談にも応じ、保護者と連携をとっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今後検討をしていきたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	作成の際には面談をし、保護者の意向を聞き作成している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		説明の際には同意を必ず得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		対面だけでなく、電話での相談にも応じ、保護者と連携をとっている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		児童発達支援では保護者会を行えていないため、今後は検討をしていきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあった際は、即時に対応をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		連絡帳アプリやインスタグラムを通じて、個別の写真付きで日々の活動を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		写真などの掲載については同意書を得ており、取扱には留意をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		機会がなかったため、今後は地域住民の方との交流が増えるようにしていきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年2回避難訓練を行っている。実施後は連絡帳アプリを通じて、その時の様子を発信している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		SSTなどの活動内で、訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者から児童の健康状態についてお話を伺っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			現在アレルギー対応児がいないため
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故が発生した際は、記録を残している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修に参加をし、他の職員へ情報共有を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		他児への危険があるとき以外は身体拘束は行ってはいけないと職員に周知徹底をしています。	